

第5学年1組 国語科学習指導案

1 単元 たがいの立場を明確にして、話し合おう

『よりよい学校生活のために』

2 単元設定の理由

- 本単元は、身の回りの問題を解決するための議題に対し、たがいの立場や意図を明らかにして話し合い、考えを広げたりまとめたりするという言語活動を設定している。この活動を通して、相手の意図や質問の意味をとらえ、自分の立場を明確にしなが、言葉を選んで意見を述べる力を育成することをねらいとしている。また、課題を自分事としてとらえられるよう、最上級生への意識をもち始めた今の時期に合った議題を取り上げることで、話し合いの過程や結果をもとに実際に活動を進めていきながら、達成感を味わったり、新たな活動につなげたりすることをねらいとしている。
- 本学級の児童は、学習活動全般において、ペアやグループ、学級全体などのさまざまな形態で話し合い活動を多く取り入れた学習を経験している。その中で、自分の考えを表現することの意義を感じ始めている。自分の考えを構築させ、言語化して積極的に表現できる児童も少しずつ増えてきている。その一方で、語彙力が乏しく言語として表現しにくい児童、課題を理解しにくく考えることに抵抗がある児童も少なくない。国語科の学習においては、1学期「きいて、きいて、きいてみよう」で、「きく」には「耳を傾ける」「情報を得る」「尋ねる」などの違いがあることを知り、意図を考えながら「きく」ことを学習した。また、2学期「どちらを選びますか」では、二つの立場を明確にしなが話し合い、説得力のある主張を述べることを学習した。しかし、話し合い活動の中で、意見を出し合いなが考えを広げ、共通点、相違点を明確にし、参加者みんなで意見をまとめていくことは難しい。
- 指導にあたっては、これまでの話し合い活動の経験を思い起こさせ、一人ひとりが課題意識をもって学習を始められるようにする。まず、議題選定に向けて、3学期に予定している「6年生を送る会」をテーマにして考えさせる。その際、昨年度「6年生を送る会」の運営を経験した6年生へのアンケート結果をもとに、自分たちがこれから企画・運営していくにあたって解決したい課題を見つけさせる。それをもとに議題を5つにしぼり、話し合うグループを決めさせる。また、議題に関わる現状と問題点、それに対する自分の考えを付箋に書き表し、言語化・可視化させて話し合いへとつなげる。次に、グループの中で役割を決め、進行計画を立てることで、話し合いの見通しをもたせ、共有させる。話し合いの場面では、学級会の話し合いの流れと同様に「考えを出し合う」「考えをくらべ合う」「考えをまとめる」の3つのステップで進めていくようにする。また、話型を示した司会者カード・発言者カードを3つのステップに応じて適宜活用させることにし、立場を明確にして、適切な言葉を選んで述べるための手立てとする。さらに、「くらべ合う」でたがいの立場の違いを明確にし、共通点、相違点を整理したり、「まとめる」に向けて決める基準となる条件を考えたりしながら、グループみんな考えをまとめさせる。単元のふり返り活動では、話し合いの結果や自分の意見が通ったかという点ではなく、話し合いのしかたやその中で役割、考えをまとめるときに効果的だった発言など、ねらいに沿った観点を示してふり返らせ、学んだことをこれからの話し合いにいかせるようにする。それとともに、よりよい考えを生み出すためには、立場や考え方の違いを明確にして話し合うこと、目的や条件に沿って話し合うことが重要であることに気付かせたい。

3 目標

- ◎ 情報と情報の関係付けのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使うことができる。(知(2)イ)
- ◎ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思A(1)ア)
- ◎ たがいの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思A(1)オ)
- 思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。(知(1)オ)

4 指導計画(6時間)

- 第1次 第1時 学校生活の中で、よりよくしたいと思うことを出し合い、学習計画を立てる。
- 第2次 第1時 学校生活をふり返り、新たにしてみたいことや解決したい課題を見つけ、話し合う議題を決める。
- 第2時 自分の意見をまとめ、立場を明確にする。
- 第3時 立場を明確にした話し合いのしかたを確かめ、役割や進め方を決める。
- 第4時 たがいの立場を明確にしながらか計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりする。(本時)
- 第3次 第1時 話し合った結果をクラス全体で共有して感想を伝え合い、単元をふり返る。

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使っている。(1)オ) ・情報と情報の関係付けのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使っている。(2)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を集め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強くたがいの立場や意図を明確にしながらか、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために話し合おうとしている。

6 本時の目標

- たがいの立場を明確にしながらか計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。

7 学習展開

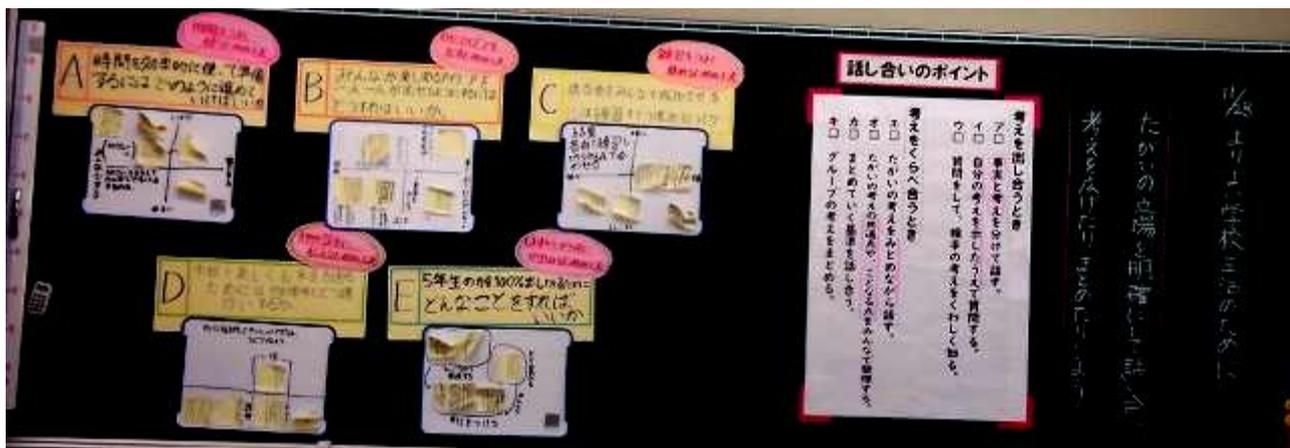
児童の活動・主な発問	指導上の留意点（◇は評価）	備考
<p>1 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ がんばりたいことや意識したいことを交流させたり、ワークシートの「話し合いのポイント」をもとに個人のめあてを設定させたりして、話し合いへの意欲を高める。</p>	<p>(全体) ワークシート</p>
<p>たがいの立場を明確にして話し合い 考えを広げたりまとめたりしよう</p>		
<p>2 話し合いのしかたを確認める。</p>	<p>○ 前時で決めた役割や進行計画を確認させながら話し合いのイメージをグループで共有させる。</p> <p>○ 個人の主張を押し通すのではなく、グループでよりよい考えに導いていくことが大切であることをおさえる。</p>	<p>(全体) ↓ (グループ)</p>
<p>3 話し合いをする。</p>	<p>○ 話し合いの様子を次時のふり返りで使用するため、グループごとに動画として記録させる。</p>	<p>進行計画</p>
<p>(1) 考えを出し合う</p>	<p>○ 必要に応じて話し合いのステップを全体で区切ったり、話し合いの進め方について確認したりすることで、計画に沿って話し合いを進めることを意識させる。</p>	<p>(グループ) タブレット</p>
<p>…という問題があります。 そこで、…と考えました。 理由は、…からです。</p>	<p>○ 話し合いを円滑に進めるための司会者カードや、発言に自信がもてない児童のための発言者カードを用意しておき、必要に応じて活用することを認める。</p>	<p>司会者カード 発言者カード</p>
<p>・例えばどんなことですか。 ・いい考えだと思うのですが、…と思います。その点についてどう思いますか。</p>	<p>○ 自分の考えを出し合うときは、事前に付箋に書いた自分の考えを一人ひとり提示しながら発言することで、友だちの考えと照らし合わせる手立てとする。</p>	<p>ホワイトボード マーカー 付箋</p>
<p>(2) 考えをくらべ合う</p>	<p>○ 多様な質問や反論を認めながらも、それが解決に向けた話し合いからそれている場合は声かけをし、話し合いの方向の見直しをさせる。</p>	
<p>●●さんと○○さんの意見は、…という点で同じです。 いっぽうで■■さんの意見は、……</p>	<p>○ グループでよりよい案をまとめていくために、話し合いの中で出た新たな案を付箋で追加することを認める。</p> <p>○ 共通する考えの付箋をまとめて貼ったり台紙にキーワードを書き込ませたりしながら、たがいの考えの共通点や相違点を整理させる。</p> <p>○ 整理のしかたの視点を共有させるために、考えを整理したタイミングで話し合いを一時中断し、他のグループと交流する時間を設ける。</p>	
<p>(3) 考えをまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝確認する ・ToDo リストをつくる ・進行状況を掲示する ・週1の担当会議をする 	<p>○ まとめるための基準となる条件を考え、その条件に合う解決方法を話し合わせることで、グループみんなが納得できる決定につなげる。</p> <p>◇ 計画に沿って話し合い、たがいの立場を明確にしながら、考えを広げたりまとめたりすることができたか。</p>	
<p>4 本時の学習をふり返る。</p>	<p>○ グループごとにまとめた意見や話し合いの経過を発表させ、全体で簡単に共有する。</p> <p>○ ワークシートの「話し合いのポイント」や個人のめあてのふり返りをさせ、次時への見通しをもたせる。</p>	<p>(全体) ↓ (個人)</p>

8 児童の話合い活動の様子とふり返り



- ・いろいろな意見が出て、どう分けるか迷ったけど、他の班を見に行き、何を基準にするかを決められたので、スムーズに話し合いができた。これからも学級会でいかしていきたい。
- ・自分の意見をしっかりと主張し、相手の意見の共通点や、違うところをしっかりと話し合っ整理をしたら、まとまった。相手に質問することも大切だと思った。
- ・司会をしていて、互いの話を聞きながら、みんなの意見をまとめるのは難しかった。でも、一人ひとりの意見を聞くと、友だちの考えがよく分かり、自分も考えが深まった。
- ・最初、意見は分かっていたけれど、みんなの意見やアイデアを合わせた新しい意見が出たので上手くまとめられた。みんなが楽しめる送る会にしたい。

9 板書



10 成果と課題

本単元は、「話し合い」を低学年よりすすめてきて、5年生では「互いの立場を明確にして話し合うこと」「自分の意見をもって話し合いに臨むこと」が目標となった。話し合いのテーマも取り組みやすく、子どもたちはいきいきと話し合いに臨んでいた。「司会者／発表者カード」を準備したことで、会話や発言の形式を大切にできていたと思う。そして、6年生に直接アンケートやインタビューをしたことも話し合いをする上でプラスとなった。

しかし、「互いの立場を明確に」はできていたが、「考えを広げたりまとめたり」はまだまだ児童にとって難しいように感じた。また、特別活動の「合意形成」よりは、話し合いの方法や形式に力を入れたが、本時では途中から特別活動の流れになってしまった。友だちが出した意見に対して、質問をしたり、意見を言ったりするなどの反応ができず、意見が具体化できないまま話し合いが進んでしまった。本単元だけでなく、日々の生活や学習の中で、スピーチ練習を積み重ねていくことが大切だと実感した。そして、ただ聞くだけではなく、質問も工夫することで、会話が広がっていく。これからも、実践を積み重ねていき、コミュニケーション能力を高め、主体的に学習できるような児童を育てていきたい。